



令和元年7月臨時会・委員会報告

- 令和元年度木曾郡町村議会議員総会
- 総務文教常任委員会
- 国有林対策特別委員会
- 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

各委員会報告…………… 17～18p

★議会で決まった議案一覧…………… 16p

○7月臨時会は、7月23日の1日間の会期で開かれました。

7月臨時会…………… 16p



議会の眼 大沢田川の細野洞用水路を利用した小水力発電所の予定地(今年度着工予定)

令和元年7月臨時会 議会で決まった議案一覧

予算関連議案		賛否
● 令和元年度 補正予算(第2号)	・一般会計の補正は1867千円を歳出予算内で組み替え、総額37億8999万8千円となります。	審議内容掲載P.16 全員一致
一般議案		賛否
● 令和元年度農業水路等長寿命化・防災減災事業 細野洞地区小水力発電施設建設工事請負契約の締結	契約金額：7264万1800円 契約の相手方：有限会社アース・テック	審議内容掲載P.17 全員一致
● 令和元年度学校施設環境改善交付金事業 南木曾中学校体育館長寿命化改良工事請負契約の締結	契約金額：9147万6000円 契約の相手方：株式会社岡谷組木曾営業所	審議内容掲載P.17 全員一致
● 平成30年度国土強靱化 町道天白川向線防災工事請負契約の締結	契約金額：5940万円 契約の相手方：株式会社松山建設	審議内容掲載P.17 全員一致

補正予算審議

質疑

Q 蘭社会教育施設の改修内容は。

A 山本学園の利用を見据え、旧蘭小学校1階からの排水を農業集落排水の下水道管に接続するものです。

意見 施設内に残る学備品などの処理については、社会教育施設活用委員会などと早急に協議し適切に行う必要がある。

Q 集約型ショッピングセンター計画の状況は。

A 商工会の開設協議会で検討しているが、事業者の意向確認では出店は難しく構想は断念するということですが、理由として駐車場の確保や集客が見込めない、経済状況の変化や出資体力の減などがあります。

Q クマの錯誤捕獲への出勤報酬は適切か。

A クマの放獣の場合の報酬の検討をしています。

契約関係

質疑

●細野洞地区小水力発電施設建設（大沢田川流域）

Q 入札結果は。

A 10者指名で9者が辞退し、1者が応札し2回目で落札しました（落札率は99.99%）。

Q 発電量や採算性は。

A 用水路改修を兼ねた発電量毎時32kwの施設建設により、年間850万円の売電収入が見込まれ、維持管理費（約200万円）、元利償還金（約350万円）、農業集落排水施設や他の農業用水路等の維持管理経費など（約300万円）に当てられ、事業全体では国や県からの補助金分が剰余金となり、20年間で採算が合う計画です。

Q 大沢田川の土砂災害対策は大丈夫か。

A 安全を見込んで本流からかなり離れた場所に発電施設を設置します。

Q 施設の管理は。町が行います。

●中学校体育館長寿命化改良工事

Q 工事中の対策は。

A 中学校の授業は社会体育館を使用、部活や社会人での使用は他の施設の利用や高校体育館なども調整しています。

Q 工事額が大きい工事内容と詳細が分からない。

A 資料を提示します。
Q 外壁の耐震は大丈夫か。

A 今回の設計で確保されると考えていますが、状態を確認しながら工事を進めます。

●町道天白川向線防災工事（伊勢小屋沢付近）

Q 契約額の消費税は。

A 工期が10月をまたぐため国や県からの通知に依り10%で計算しています。

意見 大型車の通行もあり、この部分の町道拡幅を要望する。

報告 令和元年度 木曾郡町村議会議員総会

8月1日、令和元年度木曾郡町村議会議員総会が上松町ひのきの里総合文化センターで開催され、郡内6町村の議会議員が一堂に会しました。内容は以下のとおりです。

総会提出議題

総会では、各町村から以下の5項目の議題が各町村などから提出され、全て承認されました。

1. 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進について（木曾町）
2. 木曾地域の観光戦略の推進について（南木曾町）
3. 木曾地域の医療体制の充実について（大桑村）
4. 野生鳥獣被害対策の取組支援について（王滝村）
5. 木曾地域の交通網の整備について（木曾郡町村議会議長会）

※注：（ ）内は議題提出町村など

研修会

研修会では、講師 城風人氏による講演会が行なわれました。

演題 「森林環境税と新たな森林管理の取組」

講師 長野県林務部信州の木活用課長 城風人氏



南木曾町議会の課題を発表する近藤議員



城風人氏による講演会の様子

報告 総務文教常任委員会

特養老「木曾あすなろ荘」の課題を聞く

7月23日に総務文教常任委員会を開催し、役場議員控室において松塩筑木曾老人福祉施設組合の磯村政範管理課長から組合の現況と今後の課題、特に町内の特養老「あすなろ荘」についての報告を受け、その後懇談をしました。今回の委員会は町における重要な課題であり委員以外の議員も含め全員が出席しました。

報告では南木曾町における介護を受ける側や介護を支える側の状況や将来予測、また介護施設にとって不可欠の嘱託医師の確保や給食体制の確保などにおいて抱えている困難性などが示されました。

松塩筑木曾老人福祉施設組合は、全国でも一番の規模となる一部事務組合による介護施設運営体であり、松本や塩尻などの都市部と筑北や木曾などの山間地での施設運営を行っています。課題の地域差も大きいとのことでした。

木曾地域では、介護を受ける対象者は減少する

傾向にあるが、介護する人材の確保がますます大事になっているとの認識も示されました。

主な質疑

- Q あすなろ荘への入所実態：A 6～7割が町民。
- Q 料金が安価でサービスも良い。給食の改善が求められるが：A 食費には国基準がある。それを越える場合には組合負担になってしまう。
- Q 外国人採用はあるのか：A 検討はしているが、住宅などさまざまな支援体制が必要。
- Q 正規職員への道は：A 公務員に準ずる専門性が試されるため困難があるようだ。

坂下病院の診療所化に対応した取り組み

5月13日に総務文教常任委員会の正副委員長が坂下診療所を訪問し、額額治久事務長から診療所化にともなう状況や坂下から市民病院への通院バスの状況、今後の改革プランの動きなどについて懇談しました。

また、5月23日には、同常任委員会において坂下老健施設長の高山先生を迎えて懇談会を行い、診療所の状況などを伺っています。

引き続き調査等を行っていきます。

報告 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

8月5日開催の松塩筑木曾老人福祉施設組合8月臨時会の内容です。

議会の構成概要

4月の統一地方選挙を受けて議員の構成が変わりました。議員数は24名、任期は2年間です。

- ・議長：丸山寿子（塩尻市議会議長）
- ・副議長：小林あや（松本市議会議員）
- ・議会運営委員長：永井泰仁（塩尻市議会副議長）

監査委員の選任

- ・組合議会議員：中村文映（朝日村議会副議長、新任）
- ・識見を有する者：太田由夫（松本市代表監査委員、再任）

令和元年度一般会計補正予算

債務負担行為の追加として、各施設における令和2年度の調理業務委託費の限度額が示されました。

全員協議会の協議事項

- ・給与制度検討委員会の委員：議長が指名。
- ・「松塩筑木曾老人福祉施設組合経営指針2025」：平成31年3月に持続可能な組合経営を目指し、昭和44年の組合設立から50周年となりますが、初めての経営に関する指針となっています。5つの取り組み目標とその具体策が示されました。
- ・会計年度任用制度（素案）：令和2年4月1日から地方公共団体の非常勤職員の任用制度が新しくなるのに合わせての現行制度の見直しについての考え方が示されました。組合の人材確保、待遇改善、財政負担とその対応などです。

報告 国有林対策特別委員会

8月27日、国有林対策特別委員会を開催し、現地視察と意見交換会を行いました。

現地視察は、治山工事箇所と官行造林箇所を見学しました。令和5年官行造林の契約満了を迎えるため、注視していきます。

意見交換会では、時間が足りないほど活発な会になりました。準備をしていただいた森林管理署南木曾支所の方々に感謝申し上げます。



現地視察の様子